

グランシップ伝統芸能シリーズ

ユネスコ無形文化遺産

人形浄瑠璃

文楽

大切な人、
愛しい人を守り戦う
切なくも強い思いに、
心揺さぶられる物語。

夜の部

「曾根崎心中」

そね ぎさしんじゆう
生玉社前の段、天満屋の段、天神森の段

昼の部

「一谷嫩軍記」

いちのたにふたばぐんき
熊谷桜の段、熊谷陣屋の段

写真 青木信二

《全席指定》 1階席 3,800円 昼夜通し券 6,840円
子ども・学生 1,000円 2階席 2,000円
グランシップ友の会先行販売: 7/4(日)~7/10(土)
一般発売: 7/11(日)~

※未就学児入場不可、子ども・学生は28歳以下の学生
※2階席は舞台を上から見下ろすため、人形や舞台の一部が見えにくい場合があります
※昼夜通し券は、TEL、窓口のみでの販売です
※公演日1週間前に残席がある場合、定価より2割引になります(子ども・学生、通し券を除く)
※静岡県高校生アートラリー「ポイント対象事業」
※グランシップ友の会会員特典対象事業(通し券、子ども・学生券を除く)

チケット販売
お問い合わせ

グランシップチケットセンター TEL 054-289-9000 (10:00~18:30/休館日を除く)

※グランシップホームページからは空席状況に応じてお好きな席を選んで購入できます。(昼夜通し券はTEL(コンビニ受取可)、窓口のみ)
※1階席14~19列と2階席は座席の間を空けて販売します。

<https://www.granship.or.jp>



2021年 10月10日 日

昼の部 13:30開演 (15:35終演)
夜の部 18:00開演 (19:40終演)
※開場は開演の30分前

グランシップ 中ホール・大地
(JR東静岡駅南口隣接)

公演当日、
お着物でご来場の方に、
先着で文楽クリアファイルを
プレゼント!

一谷嫩軍記

熊谷桜の段、熊谷屋の段
一ノ谷での源平の合戦。「二枝を伐らば一指を剪るべし」と記された制札を、源義経から渡され、若木の桜を守れと命じられた熊谷直実。一騎討ちとなった、我が子と同年輩の平敦盛。実は、後白河院と、熊谷にとって命の恩人である藤の局との間の子——を討ち取りました。

初陣の息子が心配で、武蔵国から旅をして来た妻相模。追手を逃れ、偶然にも熊谷の陣屋へ駆け込み、我が子の仇と迫る藤の局。そんな二人に熊谷が語ったのは、子を失った両親の嘆きを思い、組み敷いた敦盛を助けようとしながらも討たざるを得なかった合戦の様子と、敦盛が最期まで母の身を案じていたことでした。

いよいよ首実検。熊谷は、制札に従い敦盛を討つたとして、我が子の首を義経の前に。制札の真意を、「子を切らば子を切るべし」、院の子である敦盛を切るなら、自身の子を切れと判断したことは、正しかったのか？あるいは間違っていたのか？熊谷の間に、義経は首を敦盛と認めました。

敦盛は熊谷に匿われ無事。思いもよらない息子の死に慟哭する相模。大切な子を失い、もはや俗世に何の望みもない熊谷は出家を志し、その場で髪を切つて法然のもとへと向かいます。宝暦元年（1751）、豊竹座で初演された五段の時代物で、今回上演される三段目までを執筆して並木宗輔が亡くなり、残りの段を他の作者たちが補いました。

熊谷が一ノ谷（神戸市須磨区）の合戦で敦盛を討つた話は『平家物語』の中でも有名で、子に死なれる父親の悲しみを思いやり、我が子のよくな若武者を討たねばならず苦しむ姿が描かれています。そこに、実は我が子が子であつたというひねりを加えた本作では、熊谷の内面により深い苦悩と悲しみが秘められ、「16年もひと昔。夢であつたなあ」と、息子への思いが、心の奥から絞り出されるように語られるのが、印象的。悲劇を豪快に描く時代物の代表的演目です。



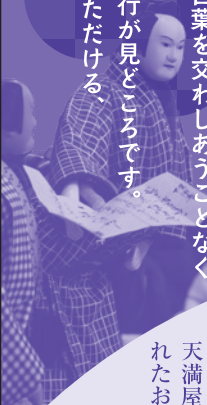
ユネスコ無形文化遺産であり、日本が世界に誇る「人形浄瑠璃 文楽」。

大夫・三味線・人形遣いの三業が互いに息を合わせ「三位一体」で創り上げられる舞台は、世界のほかの人形劇とは全く異なる文楽ならではの特徴です。グランシップでは、施設の改修工事を経て2年ぶりの開催。

夜の部は「平家物語」の中でも有名な一ノ谷での合戦を題材とし、平家の公達敦盛が源氏方の熊谷直実に討たれた話の中で、子に死なれる悲しみや苦悩を表現しています。

夜の部では、近松門左衛門の名作であり文楽の代表的演目「曾根崎心中」。元禄十六年（1703）に曾根崎の天神の森で実際に起きた心中事件を題材に描かれました。醤油屋の手代・徳兵衛と天満屋の遊女・お初が言葉とあつことなく、心中を決意する山場「天満屋の段」と、

「この世の名残、夜も名残……」の名文で始まる道行が見どころです。時代物と世話物の名作をたつぷりとお楽しみいただける、県内で唯一の文楽鑑賞の機会です。



夜の部

曾根崎心中

生玉社前の段、天満屋の段、天神森の段
離れては生きていけない二人——醤油屋の手代徳兵衛と天満屋の遊女お初。

徳兵衛は、店の主人からもちかけられた縁談話を断固拒否。ついに破談となり、欲深い継母が知らぬ間に受け取つていた持参金を主人に返すことに。期限は明日。金はすでに継母から取り戻して来てありましたが、激怒した主人に大坂追放を言い渡された身。お初と会えなくなる……。嘆く徳兵衛を力づけ、金を一刻も早く主人に返して怒りを和らげるよう、勧めるお初。

ところが、その大切な金を、徳兵衛は油屋九平次に頼み込まれて貸してやつており、この目になど騙し取られたことが判明。それどころか、証文を偽造して九平次から金をゆす取り取ろうとした犯罪者にしてあげられてしまひました。身の潔白を証明するには死ぬよりほかに……。天満屋へ姿を見せた徳兵衛から覚悟を聞かされたお初は「一緒に死ぬことを決意。深夜、徳兵

衛と手を取りあつて、曾根崎の天神の森へ。元禄16年（1703）、竹本座で初演された近松門左衛門の世話物第1作。実際には一ヶ月後に上演、大好評を博しました。同時代の題材を扱うことのない浄瑠璃にとつて画期的な作品です。その後は上演が絶え、昭和30年（1955）に、野澤松之輔の脚色、作曲により、四ツ橋文楽座で復活されました。

★「人形浄瑠璃 文楽」チケット購入者限定！

わかる! 文楽入門講座

本公演に出演している人形遣いが、実演を交えながら文楽人形の仕組みや人形遣いの役割を解説します。

無料
申込不要

本公演のチケットを持参の上、直接会場へ

■2021年10月10日(日)
■16:30~17:00
グランシップ
6階交流ホール



★お客様へのお願い★

- 発熱又は風邪の症状がある方は、ご来場をお控えください。
- 会場でのマスク着用、検温、手指のアルコール消毒にご協力ください。
- 1階席14~19列と2階席は座席の間を空けて販売します。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、本公演を中止する場合があります。必ずグランシップホームページで最新情報をご確認の上、ご来場ください。

文楽限定グッズ

会場限定

公演当日、会場内では、公演パンフレットや人気の文楽せんべいを販売。

お土産にどうぞ



交通アクセス

- ・JR東静岡駅南口隣接。
- ・静岡鉄道長沼駅から徒歩10分。
- ・JR東海道新幹線（ひかり）で東京・名古屋から1時間。新大阪から2時間。JR静岡駅乗換。東静岡駅まで3分。
- ・車では、東名高速道路静岡I.C.から20分。日本平久能山スマートI.C.から10分。新東名高速道路新静岡I.C.から15分。静岡バイパス千代田上土I.C.から10分。

公演当日は混雑が予想されますので公共交通機関をご利用ください。



車椅子でご来場の方は、公演日前日までにご連絡ください。

【車椅子での来場のお問い合わせ】(公財)静岡県文化財団 文化事業課 TEL:054-203-5714

GRANSHIP
Shizuoka Convention & Arts Center

〒422-8019 静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号
グランシップ指定管理者：公益財団法人静岡県文化財団
https://www.granship.or.jp/

この芸術祭

